

令和元年度 看護職員の採用状況等に関する調査【結果】

調査概要

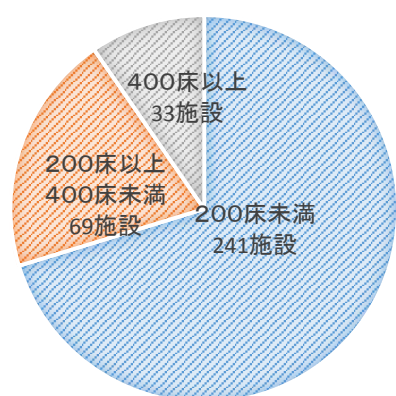
調査目的: 県内病院における看護職員の採用状況等について、より実態に即した状況を把握する
 調査内容: 令和元年度看護職員の採用状況等に関する調査
 調査対象: 県内の全病院(343病院)
 調査方法: 郵送等によるアンケート調査
 調査時期: 令和2年2月20日～令和2年4月30日

調査対象病院数	回答病院数	回答率
342施設	159施設	46.5%

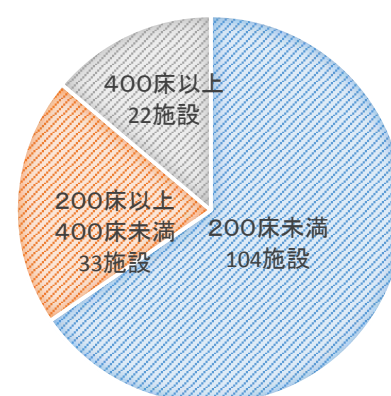
病床数別内訳

200床未満	200床以上400床未満	400床以上	合計
241施設	69施設	33施設	343施設
70.3%	20.1%	9.6%	

調査対象病院内訳



回答病院内訳



二次医療圏別の回答率

医療圏	圏域内市町村	病院数	回答数	回答率
南部	川口市・蕨市・戸田市	29	15	51.7%
南西部	朝霞市・志木市・和光市・新座市・富士見市・ふじみ野市・三芳町	29	11	37.9%
東部	春日部市・草加市・越谷市・八潮市・三郷市・吉川市・松伏町	50	21	42.0%
さいたま	さいたま市	39	20	51.3%
県央	鴻巣市・上尾市・桶川市・北本市・伊奈町	18	10	55.6%
川越比企	川越市・東松山市・坂戸市・鶴ヶ島市・毛呂山町・越生町・滑川町・嵐山町・小川町・川島町・吉見町・鳩山町・ときがわ町・東秩父村	50	23	46.0%
西部	所沢市・飯能市・狭山市・入間市・日高市	53	17	32.1%
利根	行田市・加須市・羽生市・久喜市・蓮田市・幸手市・白岡市・宮代町・杉戸町	32	22	68.8%
北部	熊谷市・本庄市・深谷市・美里町・神川町・上里町・寄居町	34	16	47.1%
秩父	秩父市・横瀬町・皆野町・長瀬町・小鹿野町	8	4	50.0%
県全体(合計)		342	159	46.5%

<参考 調査結果の見方>

- 回答比率(%)は、少数点以下四捨五入したため、個々の比率の合計は100%にならないことがあります。
- 複数回答の質問については回答数の合計が回答病院数を超えることがあります。
- 「n」とあるのは、その質問の有効回答者数の総数を示しています。

問1 在籍職員数について

病院看護職員・看護補助者の在籍数と退職率(n=159)

	令和元年4月1日時点 職員数(a)	令和2年3月31日時点 職員数(b)	令和元年度中の 総退職者数(c)	退職率 (c/((a+b)/2))
看護職員	32,656人	26,852人	3,391人	11.4%
(再掲)准看護師	2,834人	2,756人		
看護補助者	5,501人	5,623人	981人	17.6%

問2 令和元年度の採用状況について

採用者数<令和元年4月1日から令和2年3月31日までの期間に採用した看護職員・看護補助者> (n=159)

		採用実績数 (内訳)						
			自己採用	ハローワーク	ナースセンター	有料職業紹介 事業所	その他	
看護職員 (内訳)	新卒者	【常勤】	2,047人	1,884人 (92.0%)	1人 (0.0%)	1人 (0.0%)	5人 (0.2%)	14人 (0.7%)
		【非常勤】	22人	21人 (95.5%)	0人 (0.0%)	2人 (9.1%)	0人 (0.0%)	2人 (9.1%)
	既卒者	【常勤】	1,282人	568人 (44.3%)	26人 (2.0%)	10人 (0.8%)	530人 (41.3%)	114人 (8.9%)
		【非常勤】	402人	240人 (59.7%)	15人 (3.7%)	9人 (2.2%)	81人 (20.1%)	45人 (11.2%)
	定年退職後 再雇用者	【常勤】	46人	55人 (119.6%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	2人 (4.3%)
		【非常勤】	38人	23人 (60.5%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	7人 (18.4%)
看護補助者 (内訳)	新卒者	【常勤】	105人	65人 (61.9%)	4人 (3.8%)	0人 (0.0%)	3人 (2.9%)	7人 (6.7%)
		【非常勤】	28人	26人 (92.9%)	4人 (14.3%)	0人 (0.0%)	2人 (7.1%)	1人 (3.6%)
	既卒者	【常勤】	537人	232人 (43.2%)	46人 (8.6%)	1人 (0.2%)	99人 (18.4%)	53人 (9.9%)
		【非常勤】	490人	269人 (54.9%)	35人 (7.1%)	0人 (0.0%)	75人 (15.3%)	64人 (13.1%)
	定年退職後 再雇用者	【常勤】	32人	27人 (84.4%)	1人 (3.1%)	0人 (0.0%)	1人 (3.1%)	3人 (9.4%)
		【非常勤】	28人	20人 (71.4%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	4人 (14.3%)

問3 令和元年度の退職者について

退職者数<令和元年4月1日から令和2年3月31日までの期間に退職した看護職員・看護補助者> (n=159)

			(内訳)			
			離職※	転職※	定年退職	その他・不明
看護職員	【常勤】	2,941人	1,256人 (42.7%)	1,094人 (37.2%)	70人 (2.4%)	521人 (17.7%)
	【非常勤】	450人	176人 (39.1%)	115人 (25.6%)	12人 (2.7%)	147人 (32.7%)
うち3年以内に採用され 令和元年度中に退職し た職員(=3年以内離 職)	【常勤】	1,188人	495人 (41.7%)	440人 (37.0%)	3人 (0.3%)	250人 (21.0%)
	【非常勤】	213人	79人 (37.1%)	51人 (23.9%)	2人 (0.9%)	81人 (38.0%)
看護補助者	【常勤】	526人	178人 (33.8%)	150人 (28.5%)	33人 (6.3%)	165人 (31.4%)
	【非常勤】	455人	205人 (45.0%)	65人 (14.3%)	11人 (2.4%)	174人 (38.3%)

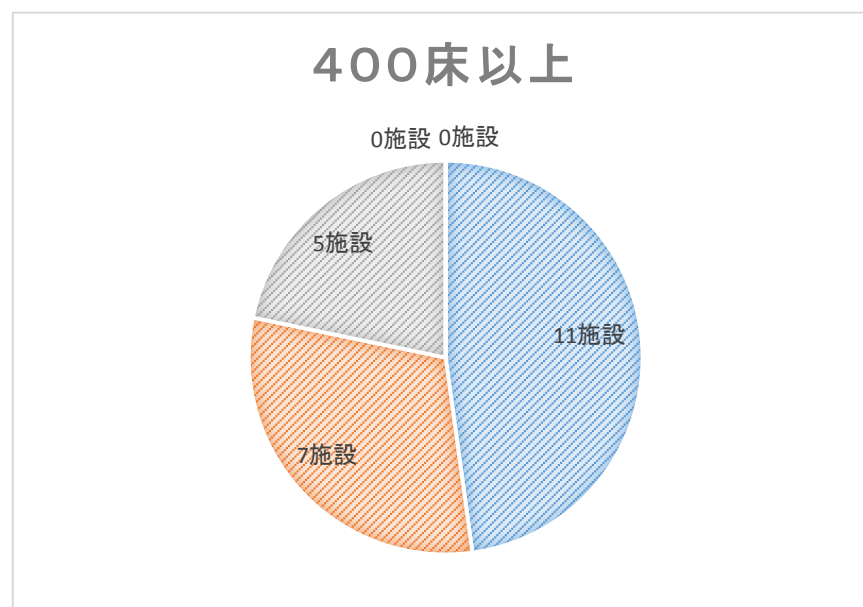
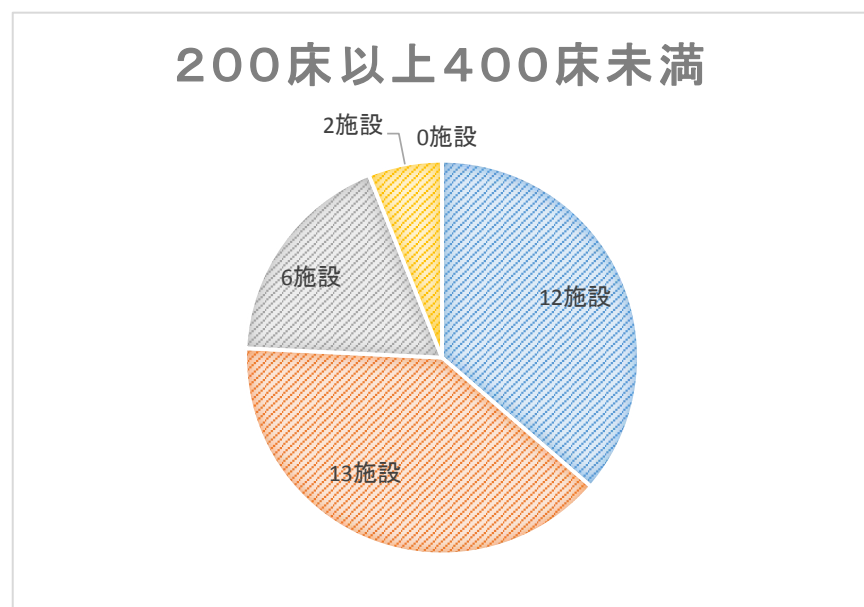
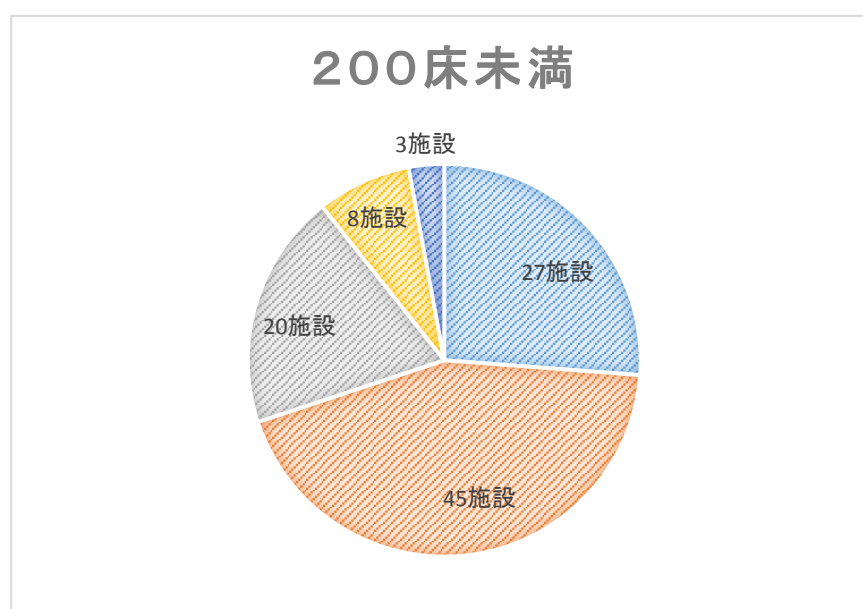
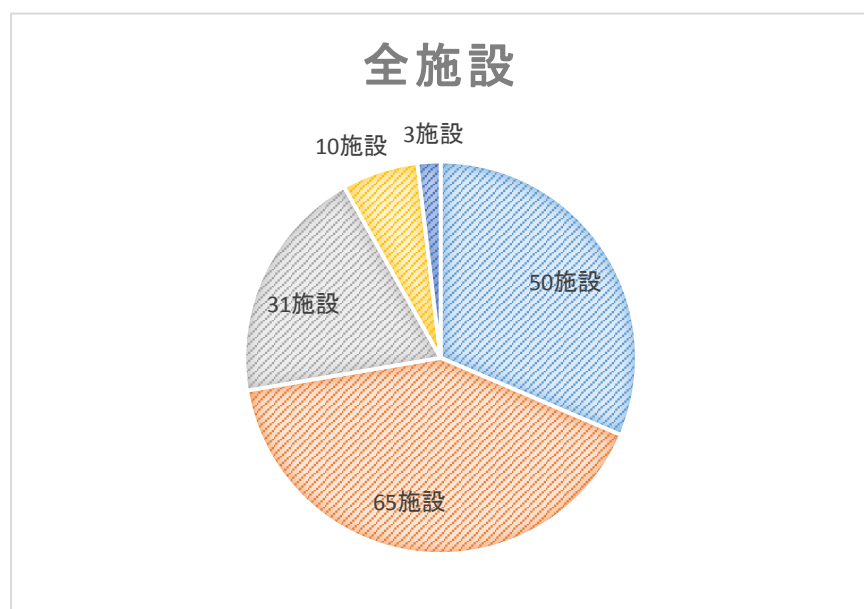
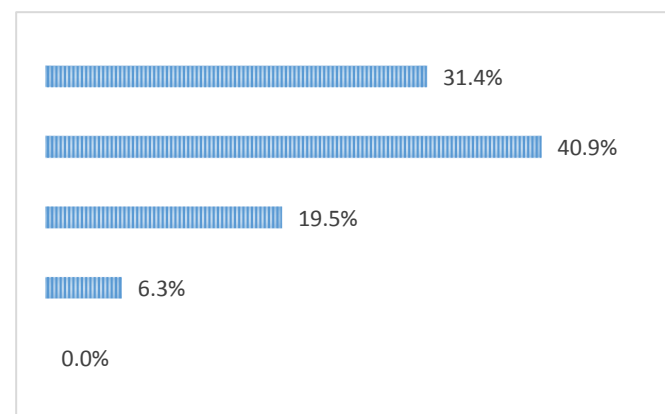
※[離職]: 看護職員・看護補助者以外での勤務が決まっているor次の職場が決まっていない状態での退職

※[転職]: 看護職員・看護補助者としての勤務が決まっている状態での退職

問4 現在の看護職員の配置状況に対する、「不足や不足感」

(1)現在の看護職員の配置状況に対する「不足や不足感」(n=159)

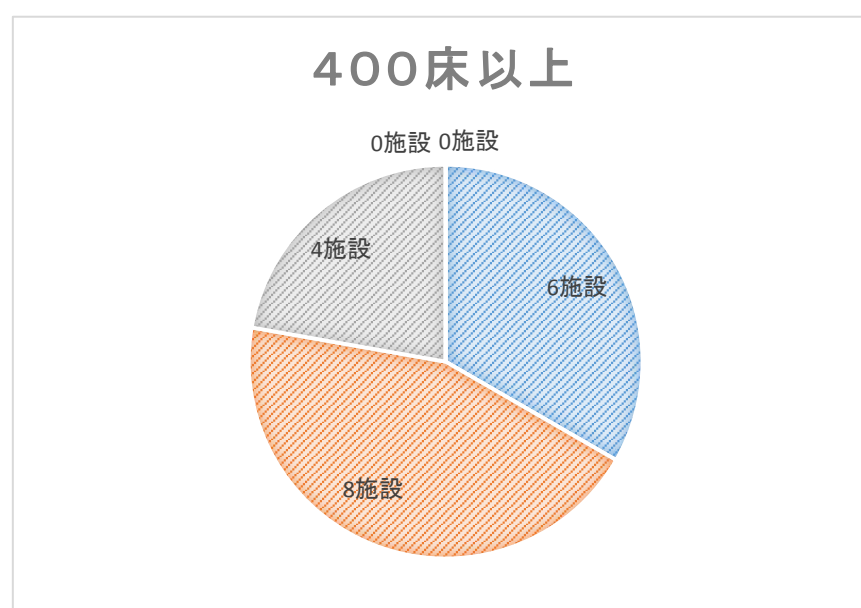
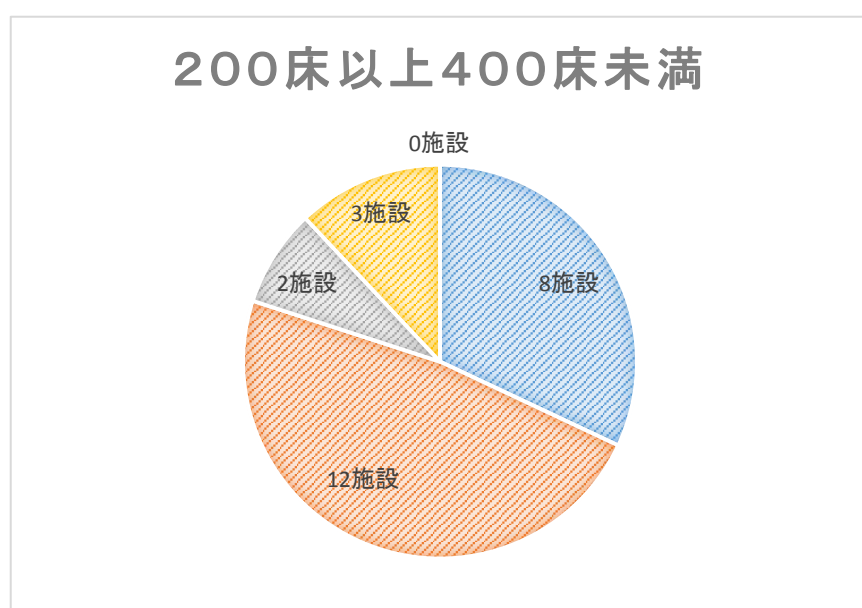
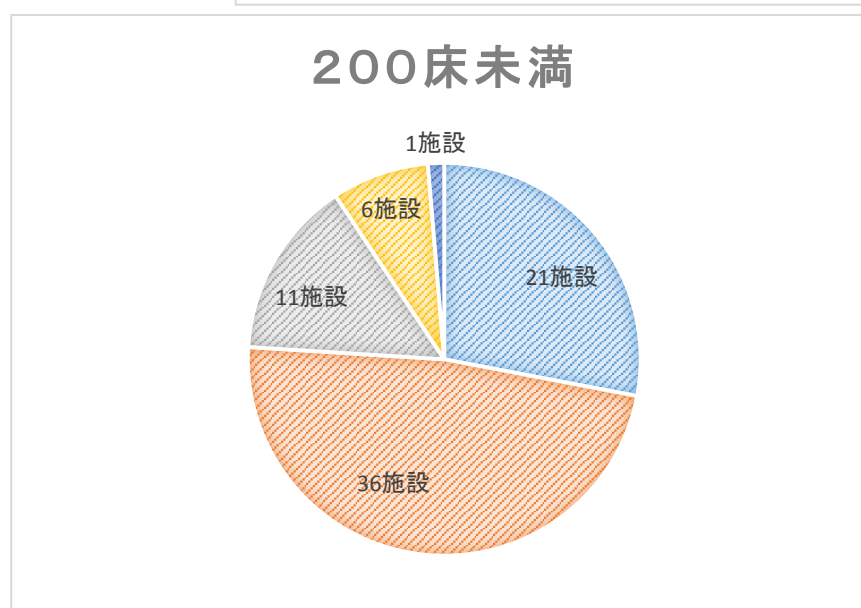
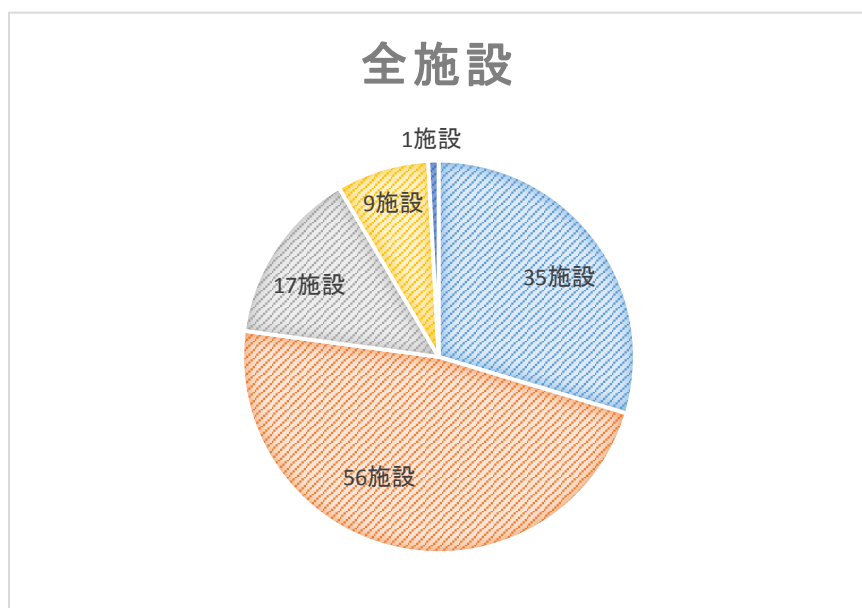
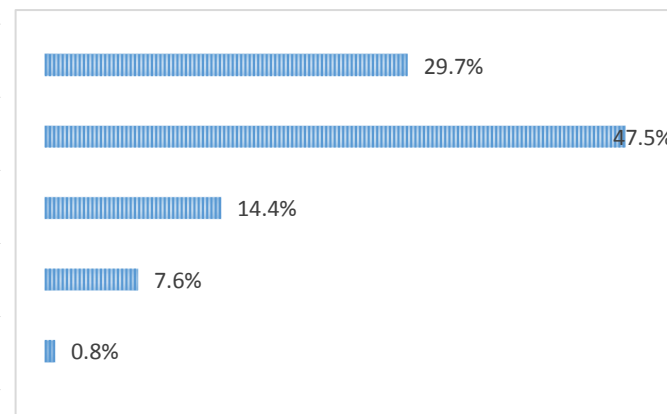
項目	回答数	
ある	50	31.4%
どちらかといえばある	65	40.9%
どちらかといえはない	31	19.5%
ない	10	6.3%
未回答	3	0.0%



(2)現在の看護職員の配置状況に対する「不足や不足感」の程度 (n=118)

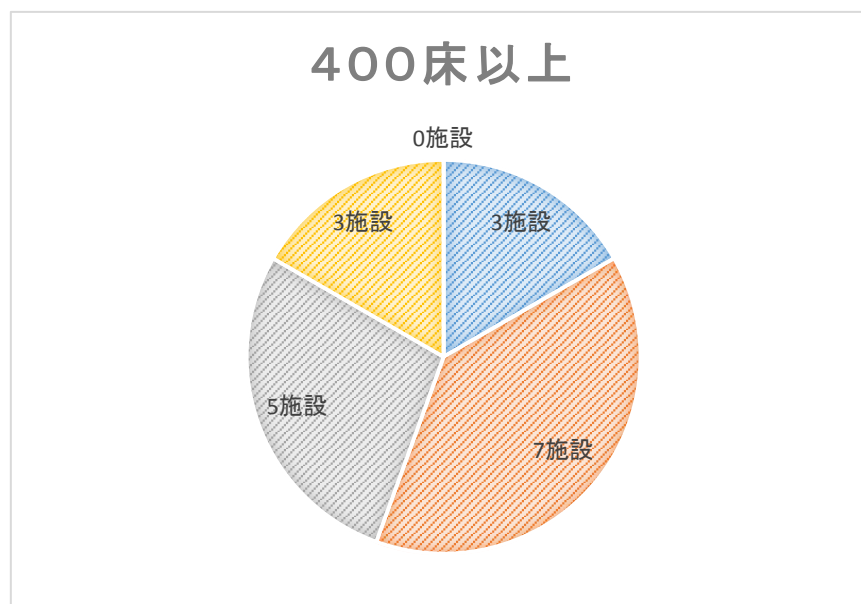
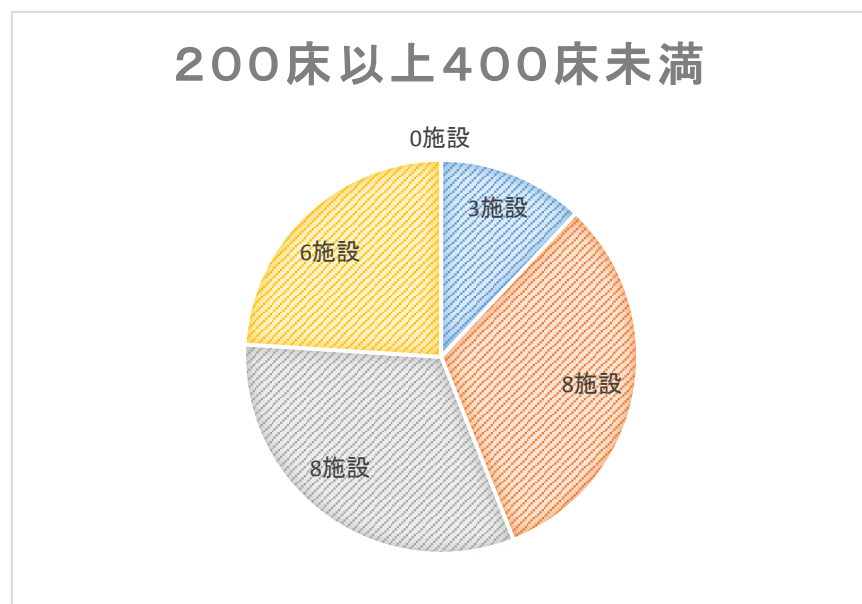
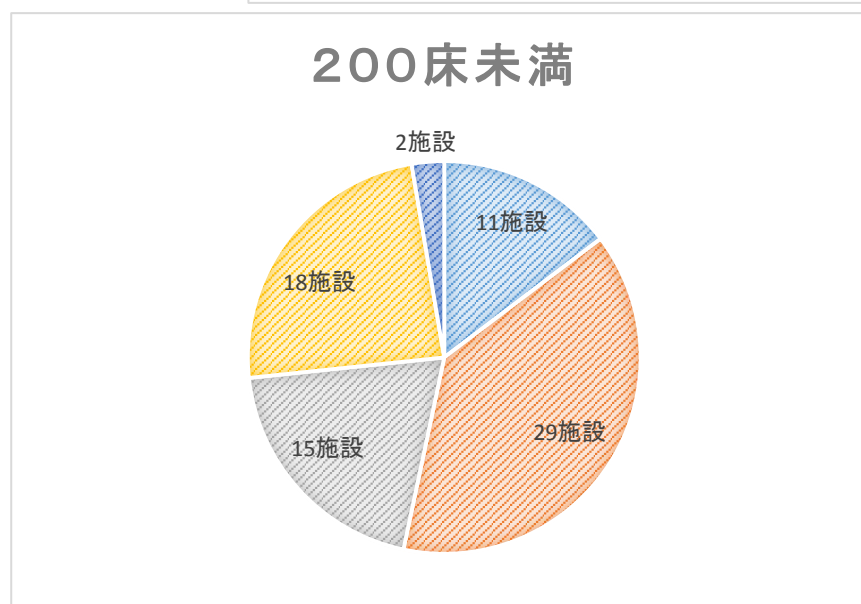
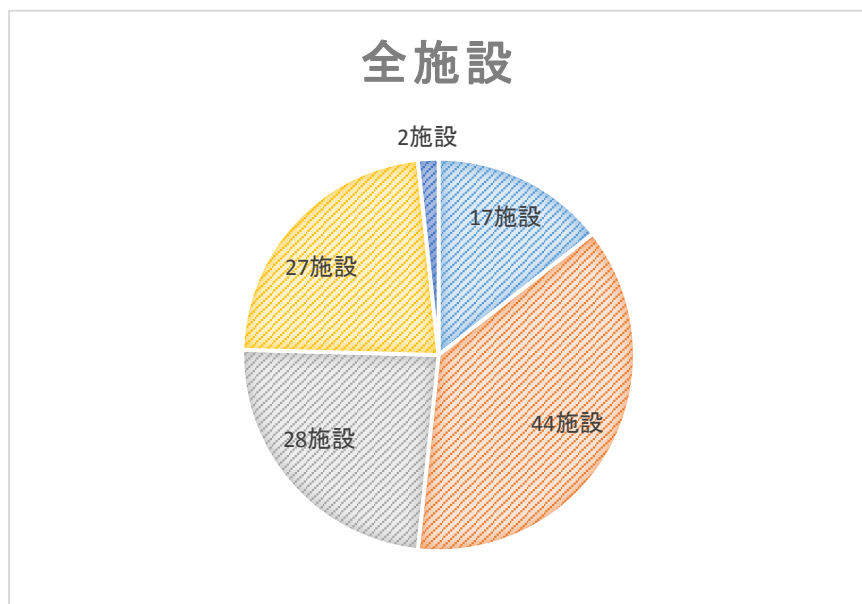
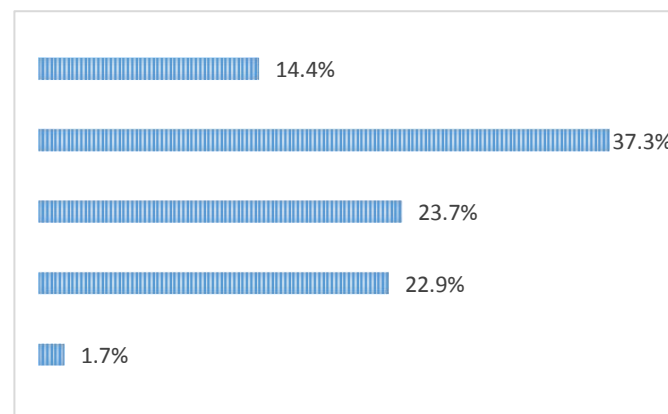
1「何かあったら医療事故が発生しかねない状態」、あるいは「複数者が急な退職や休職となった場合、配置基準に満たない状態になりかねない」。

項目	回答数	
そう思う	35	29.7%
どちらかといえばそう思う	56	47.5%
どちらかといえばそう思わない	17	14.4%
そう思わない	9	7.6%
未回答	1	0.8%



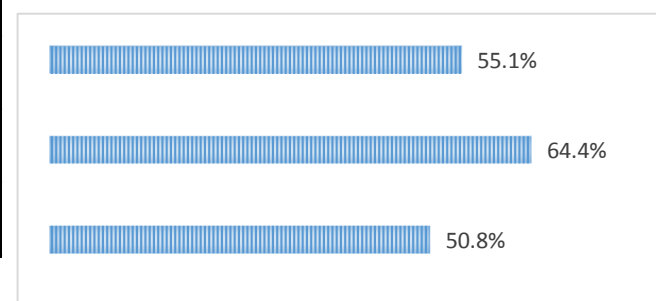
2 「外来からの応援体制により成り立っている」、あるいは「特定の看護職員に負担等が偏った状態で成り立っている」

項目	回答数	
そう思う	17	14.4%
どちらかといえばそう思う	44	37.3%
どちらかといえばそう思わない	28	23.7%
そう思わない	27	22.9%
未回答	2	1.7%



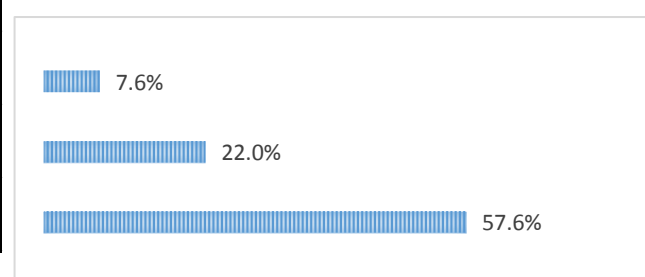
(3) 看護職員の不足や不足感を感じる理由 ※複数回答可 (n=118)

項目	回答数	
産休・育休取得による不足がある	65	55.1%
夜勤可能な看護職員の確保が困難	76	64.4%
募集をしているが、応募がない	60	50.8%



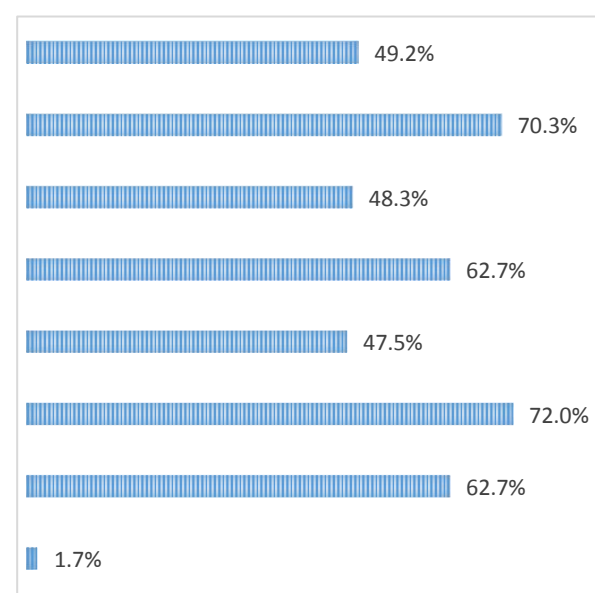
(4) 看護職員の不足や不足感によって生じた影響 ※複数回答可 (n=118)

項目	回答数	
病棟・病床の閉鎖・休止があった	9	7.6%
配置基準を見直したいが、できなかった	26	22.0%
過密業務を改善したいが、できなかった	68	57.6%



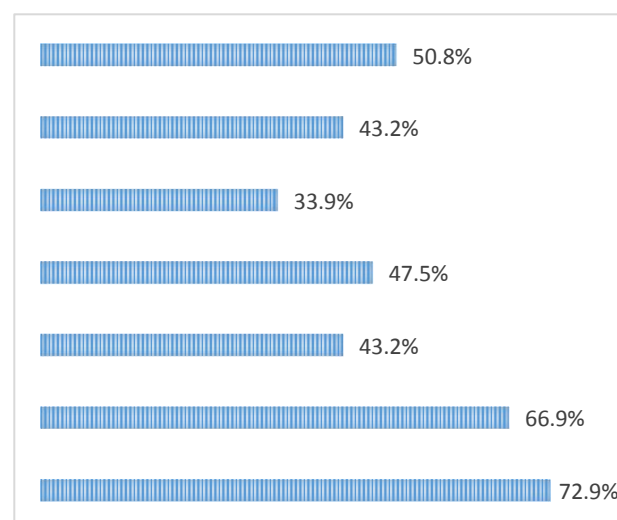
(5) 現在「不足や不足感」を解消するために活用している方法 ※複数回答可 (n=118)

項目	回答数	
ナースセンターの活用	58	49.2%
民間の有料職業紹介所の活用	83	70.3%
病院内保育所の充実	57	48.3%
短時間労働等の多様な就労形態の活用	74	62.7%
高齢者の再雇用	56	47.5%
業務改善・役割分担の見直し	85	72.0%
看護補助者の活用	74	62.7%
対策を講じられていない	2	1.7%



(6) 今後「不足や不足感」を解消するために活用したい方法 ※複数回答可 (n=118)

項目	回答数	
ナースセンターの活用	60	50.8%
民間の有料職業紹介所の活用	51	43.2%
病院内保育所の充実	40	33.9%
短時間労働等の多様な就労形態の活用	56	47.5%
高齢者の再雇用	51	43.2%
業務改善・役割分担の見直し	79	66.9%
看護補助者の活用	86	72.9%

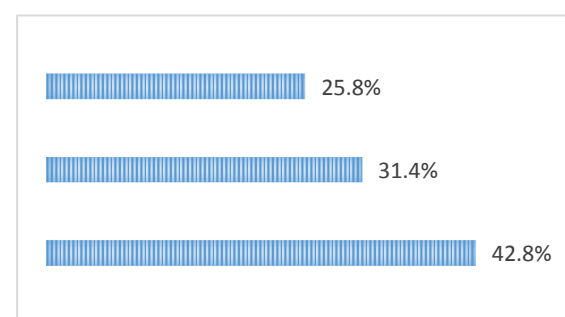


問6 看護職員の採用における募集手段の活用状況について

1. ナースセンターについて

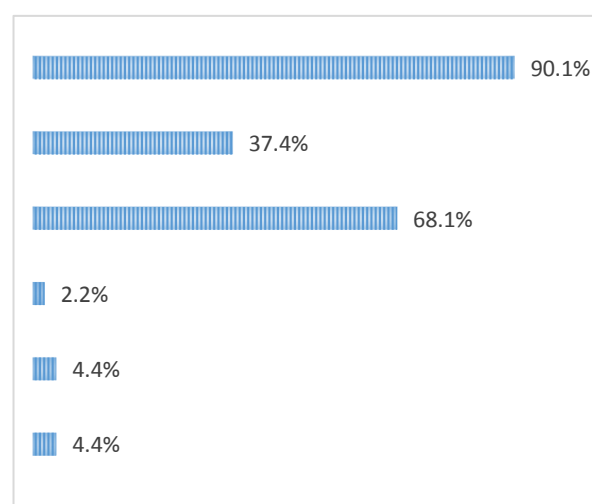
(1) 求人募集の際のナースセンターの利用状況 (n=159)

項目	回答数	
必ず利用している	41	25.8%
あまり利用していない	50	31.4%
全く利用していない	68	42.8%



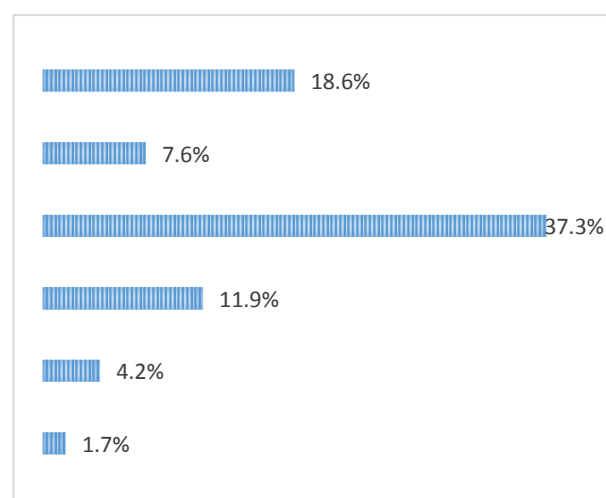
(2) ナースセンターを利用する理由 ※複数回答可 (n=91)

項目	回答数	
無料	82	90.1%
対応が丁寧	34	37.4%
看護協会が所管している	62	68.1%
求職者が豊富に紹介される	2	2.2%
適任者が紹介される	4	4.4%
成約が早い	4	4.4%



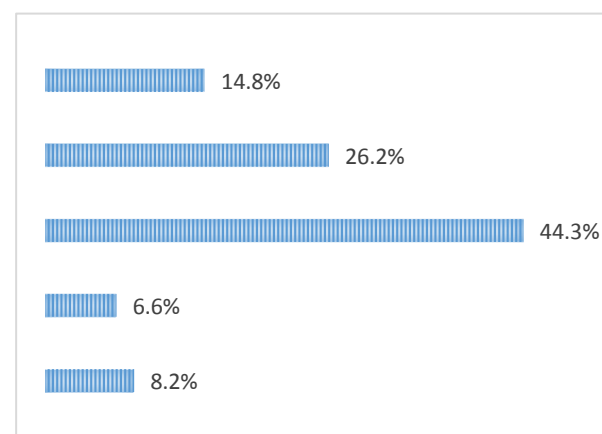
(3) ナースセンターを利用しない理由 ※複数回答可 (n=118)

項目	回答数	
登録が複雑	22	18.6%
採用までの施設側の手間が多い	9	7.6%
登録しても求職者が紹介されない	44	37.3%
適任者が紹介されない	14	11.9%
成約までに時間がかかる	5	4.2%
採用後の紹介者へのフォローがない	2	1.7%



(4) ナースセンターから紹介された職員の定着状況 (n=61)

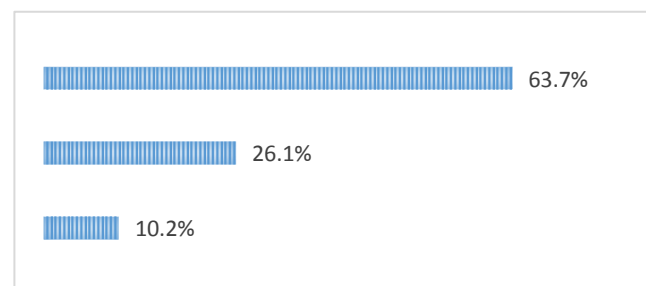
項目	回答数	
かなり良い(定着している)	9	14.8%
どちらかといえば良い	16	26.2%
ふつう	27	44.3%
どちらかといえば悪い	4	6.6%
かなり悪い(定着していない)	5	8.2%



2. ハローワークについて

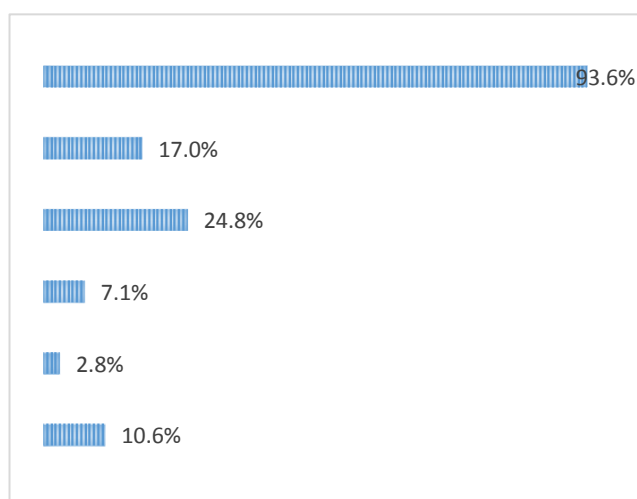
(1) 求人募集の際のハローワークの利用状況 (n=157)

項目	回答数	
必ず利用している	100	63.7%
あまり利用していない	41	26.1%
全く利用していない	16	10.2%



(2) ハローワークを利用する理由 ※複数回答可 (n=141)

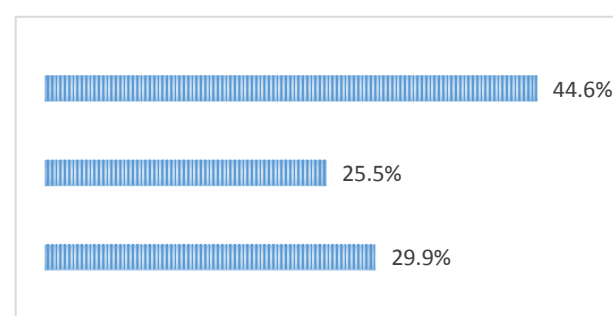
項目	回答数	
無料	132	93.6%
対応が丁寧	24	17.0%
厚生労働省が所管している	35	24.8%
求職者が豊富に紹介される	10	7.1%
適任者が紹介される	4	2.8%
成約が早い	15	10.6%



3. 有料職業紹介事業所について

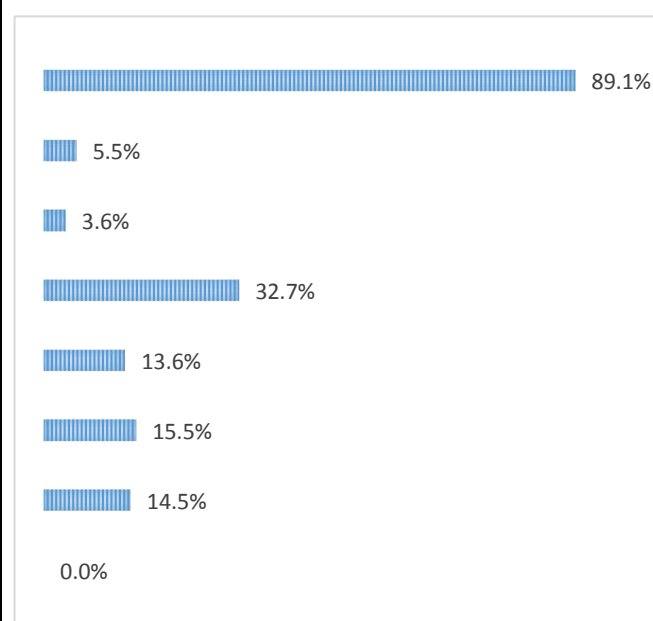
(1) 求人募集の際の有料職業紹介事業所の利用状況 (n=157)

項目	回答数	
必ず利用している	70	44.6%
あまり利用していない	40	25.5%
全く利用していない	47	29.9%



(2) 有料職業紹介事業所を利用する理由 ※複数回答可 (n=110)

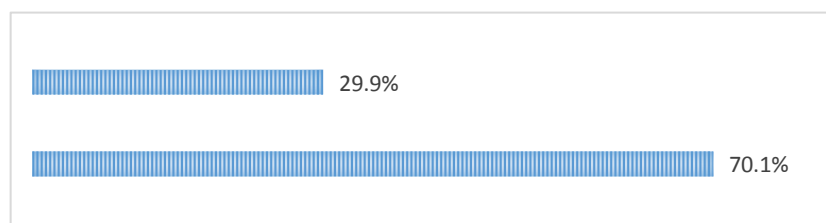
項目	回答数	
人材確保が困難なためやむを得ず	98	89.1%
対応が丁寧	6	5.5%
安心できる	4	3.6%
求職者が豊富に紹介される	36	32.7%
適任者が紹介される	15	13.6%
成約が早い	17	15.5%
採用までの施設側の手間が少ない	16	14.5%
採用後の求職者のフォローが手厚い	0	0.0%



問7 定年退職後の看護職員の活用について

(1) 令和元年度中の60歳以上の看護職員採用状況 (n=157)

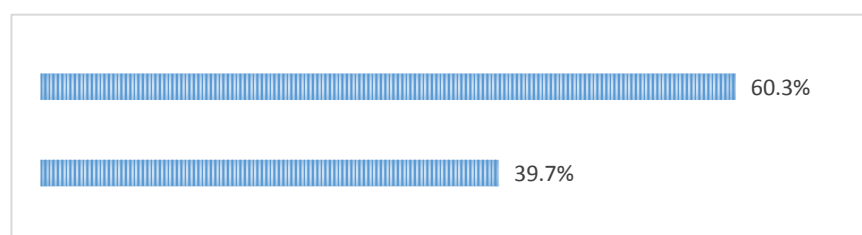
項目	回答数	
した	47	29.9%
しなかった	110	70.1%



計 96 名

(2) 定年退職後の看護職員採用時の年齢の上限 (n=146)

項目	回答数	
ある	88	60.3%
ない	58	39.7%

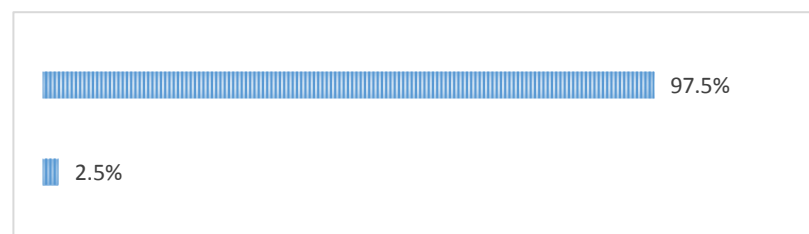


年齢の上限がある場合の上限の年齢

年齢	59歳	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳	66歳	67歳	68歳	69歳	70歳
回答数	0	4	0	1	3	1	54	0	0	3	1	16

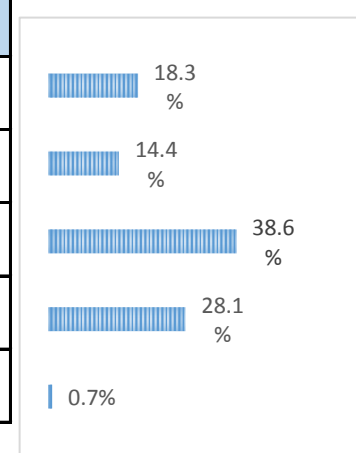
(3) 自施設における定年退職者の再雇用制度 (n=158)

項目	回答数	
ある	154	97.5%
ない	4	2.5%



(4) 定年退職者の再雇用に対する考え方 (n=153)

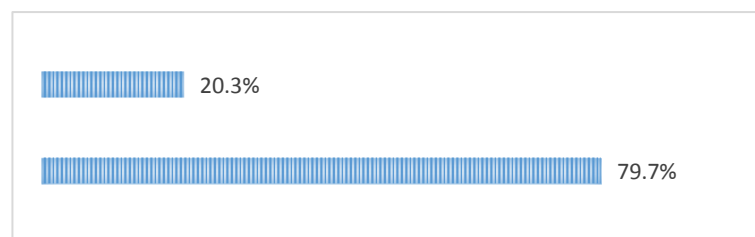
項目	回答数	
自施設・他施設のいずれの退職者も積極的に雇用したい	28	18.3%
自施設・他施設のいずれの退職者も雇用してもよい	22	14.4%
自施設の退職者であれば、積極的に雇用したい	59	38.6%
自施設の退職者であれば、雇用してもよい	43	28.1%
できれば雇用したくない	1	0.7%



問8 外国人看護職員の雇用について

(1)外国人看護職員の雇用状況 (n=158)

項目	回答数	
している	32	20.3%
していない	126	79.7%

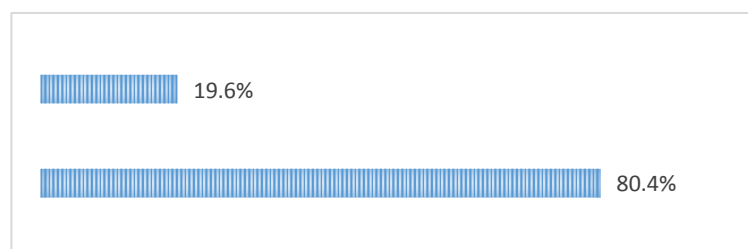


(2)採用している外国人の国籍

国籍	中国	韓国	フィリピン	インドネシア	ミャンマー	ベトナム	パキスタン	ペルー
回答施設数	22	2	4	1	0	1	1	1

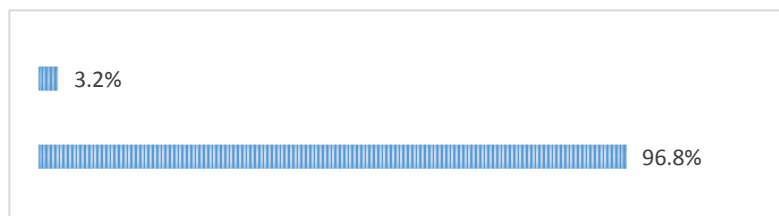
(3)今後の外国人看護職員の採用予定 (n=158)

項目	回答数	
ある	31	19.6%
ない	127	80.4%



(4)今後の外国人看護師候補者※の採用予定 (n=157)

項目	回答数	
ある	5	3.2%
ない	152	96.8%

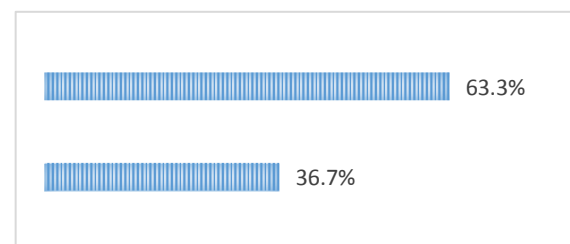


※外国人のうちまだ国家試験を受験しておらず、自施設で教育して看護師国家試験受験を目指す者

問9 看護学生に対する奨学金制度について

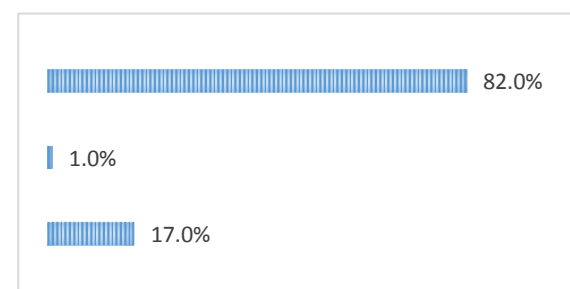
(1) 看護学生に対する奨学金制度 (n=158)

項目	回答数	
看護学生に対する奨学金制度がある	100	63.3%
看護学生に対する奨学金制度はない	58	36.7%



(3) 免除制度の有無 (n=100)

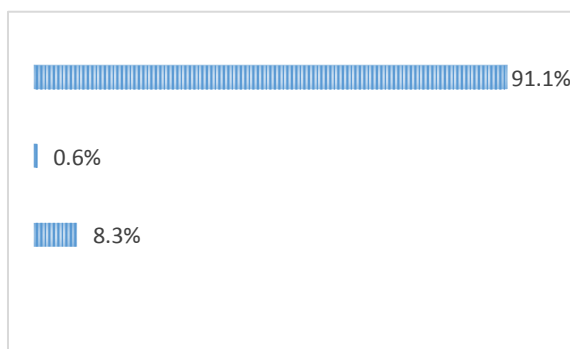
項目	回答数	
奨学金の免除制度がある	82	82.0%
奨学金の免除制度はない	1	1.0%
未回答	17	17.0%



問10 看護職員の働き方改革

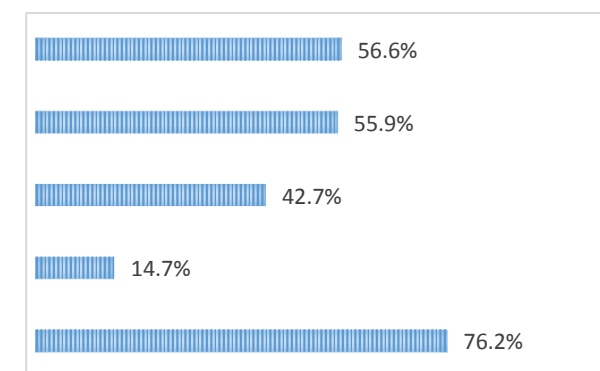
(1) 看護職員の働き方改革の実施状況 (n=157)

項目	回答数	
働き方改革に取り組んでいる	143	91.1%
働き方改革に取り組んでおらず 今後取り組む予定もない	1	0.6%
働き方改革に取り組んでいないが 今後取り組む予定である	13	8.3%



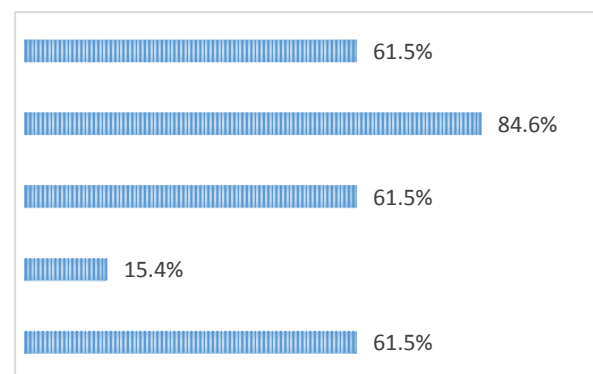
(2) 現在、働き方改革として実施している方法 ※複数回答可 (n=143)

項目	回答数	
看護職員数を増やす	81	56.6%
看護補助者を増やす	80	55.9%
看護業務のタスクシフト・タスクシェアリング	61	42.7%
IoTの導入など業務の効率化	21	14.7%
休暇取得の促進	109	76.2%



(3) 今後、働き方改革として実施したい方法 ※複数回答可 (n=13)

項目	回答数	
看護職員数を増やす	8	61.5%
看護補助者を増やす	11	84.6%
看護業務のタスクシフト・タスクシェアリング	8	61.5%
IoTの導入など業務の効率化	2	15.4%
休暇取得の促進	8	61.5%

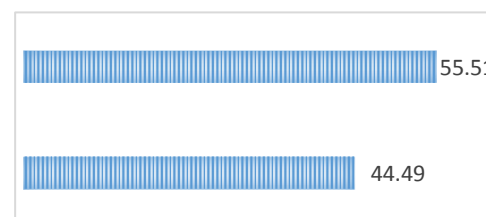


(4) 年平均残業時間および年平均年休取得率

項目	有効回答数	回答した病院の平均	
年平均残業時間【常勤】	142	43.84	時間
年休取得率【常勤】	140	66.65	%
年平均残業時間【非常勤】	126	21.49	時間
年休取得率【非常勤】	123	71.60	%

(5) および(6) 夜勤が実施できる看護職員数の割合 (上の表はn=140、下の表はn=130)

項目	回答した病院の平均
①夜勤制限のない看護職員	55.51 %
②夜勤制限のある看護職員	44.49 %



①の内訳

項目	回答した病院の平均
夜勤制限のない看護職員のうち 産休・育休などで日勤専従となっている者	10.71 %
夜勤制限のない看護職員のうち 実際に夜勤に従事している看護職員	89.29 %

